



89

やばけい 耶馬溪ダム記念公園 きねんこうえん

大分県耶馬溪町大字大島

耶馬溪町は大分県の北部に位置し、周防灘に注ぐ山国川の上流にひらけた山村である。山国川の峡谷は奇巖奇勝を形成し、頼山陽の命名により「耶馬溪」として有名である。人口は約七千人の山紫水明の里である。（文化観光）耶馬溪ダム記念公園、耶馬溪ダムスポーツ公園、旅館・ホテル・民宿多数、もみじマラソン、ダム湖畔祭



耶馬溪町では耶馬溪ダムの完成にあわせ、耶馬溪ダム記念公園を造築した。

公園は水の流れの量感を造形のテーマとし、付近の植生、岩石、水を利用して訪れる人々に心のやすらぎを与える地となるような雰囲気づくりに努めている。

公園の建設中にはさまざまなエピソードもあった。四五トンの巨石を運び出したこと、多数の人が参加した町民の森の建設、道真公ゆかりの紅白のウメ、天満宮秘蔵のハナショウブの移植などである。

公園のオープンとともに観光客が増加し、地域の活性化のきざしもみえる。そして地元村おこしグループによる湖畔祭が開催されるなど、若者たちの心に火がともったことが何よりの収穫である。